

# 令和4年度 学校要覧

# 得寿亭



天に向かつて

まっすぐ伸びろ。

盆栽のような

見せかけの

木にならず、

大黒柱になれる

木になれ。

(中村 元恒)



伊那市立高遠中学校

〒396-0213

住所:長野県伊那市高遠町東高遠232番地

TEL:0265-94-2142

FAX:0265-94-4765

E-mail:takatyu@ina-ngn.ed.jp

## 高遠中学校校歌

作詞 宮下 忠道  
作曲 広瀬 千春

山すそは 遠く開けて  
古きより 名にし負ふ町  
咲きにほふ 城址の桜  
たたへたる 水海に映ゆ  
春秋の 眺めゆかしも  
ここに立つ われらが母校

人材は 雲と起こりて  
わが郷土 歴史にかをる  
うち鳴らす 夜明けの鐘は  
こだまする 長崎の空  
新しき 歌の調べの  
声響く 都路の森

ひとすぢの 道を進みて  
聖橋 渡るすがしき  
仰ぎ見る 月蔵の山  
大空の中に 静けし  
学び舎に 理想の光  
力満ち われらは学ぶ

(昭和四十年三月十九日制定)

伊那市教育理念

はじめに子どもありき

望 仰 校  
之 之 訓  
愈 愈  
遠 高

得る学

本校の生徒の姿

保護者・地域に支えられ、  
素直で労をいとわない  
温かい人間性

保護者・地域の願い

- ・安全安心の学校
- ・「高遠の学」を受け継ぐ、  
人材の育成

実践目標  
「高遠の子」  
挨拶愛語  
清掃不言  
花作相見  
歌声響合

～ 実学 の 精神 を 基 軸 と する 学 び の 構 築 ～

特色ある  
教育活動

- 観桜期活動
- 食と農の学び
- キャリア教育
- ICT活用教育

PTAスローガン

共に拓こう  
新たな一歩

【学力向上推進プラン】

主体的・対話的で深い学び  
一人一台タブレット・家庭自主学习・学習相談

生徒会スローガン

開花

～つながる 支える 広がる～  
共に考え、共に働き、  
共に築き上げていく集団

令和4年度 重点  
「人間関係形成力の育成」

求めて学び、自ら立つ生徒  
互いに認め、学び合う生徒

教職員研修

～対話を通して、  
新しい自分に  
出会っていく生徒～  
○比べる ○検討する  
○関連付ける

= 地域との連携 =

- 高遠中学校運営委員会・応援隊
- 学習ボランティア ○部活動
- 学校HPの充実

= 関係機関との連携 =

- 高遠三校、高遠高校、長谷中連携
- 伊那市ICT推進センター
- 子育て支援

【学校評価】

○保護者アンケート ○生徒による授業評価 ○生活アンケート ○関係者評価

素 心

高遠中学校は、個性を生かす教育の充実に努め、主体的に学ぶことを通して、  
自他敬愛の情と、社会の変化に対応する力を育み、社会の願いに応える学校を目指します。

## めざす子どもの姿

- 高遠の子 「挨拶愛語」…人と人の関係を構築し、敬愛の情を作りあげる。  
 「清掃不言」…人と物との関係を構築し、自分自身を見いだす。  
 「花作相見」…人と自然との関係を構築し、心の美しさを求める。  
 「歌声響合」…友と美と喜びの創造を構築し、感動を分かち合う。
- 仰 望 「仰之愈高 望之愈遠」～高潔な志を抱き、遠く遙かに往け～  
 生涯にわたって求め続ける心の拠り所としたい。

## 目標具現のために

- 夢や志を引き出し、日々黙々と努力する実践力を育む。  
 「聴く」姿勢作り → 読むこと → 書くこと → 話すこと
- 生活リズムと体力作りにより、心身の健康と逞しさ(耐力)を育む。  
 早寝・早起き・朝ごはん・朝排便 小中連携での体力作り運動・ノーマディアの実施
- 学びの集団創りにより、学ぶ意欲の高揚と学力向上を図る。  
 ・グループ学習の積極的活用  
 ・学習習慣形成の徹底  
 ・小さな学びの積み重ね  
 自分の考え → 表現の場面設定 → より深い考察へ  
 友の考え
- 全校生徒への特別・個別支援により個々の適応力と可能性を一層伸ばす。  
 カリキュラムづくりの工夫 学習ペースの工夫 支援体制の工夫

## 各教科における具体的活動

国語	・読む、聞く、話すなど基礎的な学習を大切に学習 ・個人学習、グループ学習、全体学習などねらいや学習内容に適した形態で進めるメリハリのある学習 ・思考の根拠を文章から見つけだすための学習	音楽	・音や音楽のよさや美しさを味わって、表現したり聴いたりする力の育成 ・自発的に一人一人が音楽表現を工夫し、伝え合い、学び考える学習 ・聖桜祭・中部連合音楽会・伊澤修二記念音楽祭での合唱発表
	社会	美術	・各種美術展への参加 ・生徒作品による校内美術館の設定 ・もののもつよさや美しさなどを伝え合い、その価値を感受する力の育成
数学	・世の中で起きている(た)ことについて、小グループでの話し合い活動等を通して社会的な見方・考え方を深める学習の実施 ・世の中で起きている(た)ことについて、課題を見つけ出して自分のこととして考えることができるような学習 ・世の中にある課題について、いろいろな可能性を考えて選択したり、判断したり、仲間と議論をしたりして考えを深められる学習	保健	・技能習得を中心に据えた追究活動 ・体力向上のための活動(なかのスポーツスタジアムへの参加等) ・身心の自己管理能力の育成(自分の生活と重ねて考え、新たな知識を得て、実践する活動)
	理科	技家	・生活に必要な基礎的・基本的な知識・技術の育成 ・各種作品展への出品
	・日常の事象や数学的事象から問題を見出し解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりしていく学習 ・数学的な表現を用いて、論理的に説明し伝え合う場面の設定 ・小グループでの話し合いやICTの利用を通して、数学的な見方や考え方を深めていく学習	英語	・基礎基本を定着させながら表現力やコミュニケーション力を伸ばすための学習 ・ALTとのteam-teachingやペア・グループ学習における対話を通して、情報や考えを理解したり伝え合ったりする学習

## 高遠の学(実学)を受け継ぐ

実学の精神を生かした教育  
 ～進徳館教育に学ぶ～

### ◆地域の教材を生かし、地域に出て、地域の方と行う学習

- ・伊那市、PTAとともに取り組む観桜期活動
- ・地域の講師から学ぶ写生会や高遠太鼓、親子ふれあい講座
- ・進徳館の日、伊澤修二記念音楽祭などの地域行事への参加
- ・高遠高校生とともに学ぶ写生会、書道、音楽
- ・地域の職場で、実体験を通して学ぶ職場体験学習
- ・伝統ある学校林を守り生かす森林学習

### ◆毎日の生活・学習の中で生かされる実学

- ・朝の継続的な学習「山裾タイム」(読書・合唱など)
- ・体験的・集団的に学び合う教科学習
- ・実践を通して学ぶ総合的な学習の時間
- ・友達との関わりの中から自己を理解し、他者を理解する心の教育
- ・当番活動、清掃活動、生徒会活動など実践することで学ぶ活動
- ・全校での花壇作業等を通して行う「花作相見」
- ・ピアサポート、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンターなど、体験的に学ぶ学習

### ◆評価(見返し)と指導の改善◆

- ◎学期末に目標に則して見返しをし、次学期の改善点を探る。
- ◎教科学習、教科外活動、学校外の活動について、自らの活動を見返し、振り返る「キャリア・パスポート」を記入し、主体的に学ぶ力を育む。
- ◎年度末には各教科、各種教育の成果と反省(校内自己評価)を公表。また全保護者・生徒を対象に学校生活についてアンケートを実施し、今後の指導に生かす。
- ◎学校運営委員会等による学校関係者評価。

## 人権教育

- ・人権尊重の精神を基本に据え、互いに理解し合い、協力して励まし合って生活を高め、いく生徒を育てる。
- ・身近な生活の中に存在する差別や偏見を見抜き、それらをなくすために行動できる生徒を育てる。
- ・部落差別について正しい理解と認識を持って、差別を許さず、部落差別解消のために行動できる生徒を育てる。

## 道徳教育

- ・全ての教育活動を通して、「判断力」「思いやり」「責任感」「向上心」などが身につくよう「生徒への投げかけ」を中心に「自己をみつめる」ことを大切にす。
- ・地域教材や視聴覚教材など生徒の心に響き自分との対話が進む資料を使って、共に考え合い視野を広げられるようにする。
- ・生徒の道徳性に係る成長の様子を受け止め、評価していく。

## 特別支援教育

- ・インクルーシブ教育の理念を踏まえ、全校生徒への特別支援を基本的な考えとする。
- ・個々の生徒の持つ生活や学習上の困難に対して、適切な教育課程の工夫や個別の指導をすることにより、その改善や克服を図る。

## 悩み事、困った事、トラブルがあった時の相談窓口は

保健室・職員室・事務室・校長室・相談室・アップルームです

## 生徒理解・生徒指導

- ・一人ひとりの生徒の不安や願いに寄り添い、発達課題を明らかにしながら、それら乗り越えていけるように全職員で支援する。
- ・内在する生徒の力を信じ、相談・支援を行い、生徒の自立を目指す。
- ・自己理解、他者理解を深めることで、居心地の良い、力を伸ばすことのできる集団を育てる。
- ・保護者、地域の方と連携した生徒理解・生徒指導を行う。
- ・「子どもと親の相談員」「スクールカウンセラー」「生徒指導主事」「特別支援教育コーディネーター」による相談を充実させる。
- ・生徒理解・生徒指導に生かせる理論や方法を実践的に学ぶ職員研修を定期的に行い、充実させる。

## キャリア教育

- ・すべての教育活動をキャリア学習として位置付けた学習を目指す。  
 キャリア学習とは…自分が自分らしく生きられるようにすること  
 学習を通して身に付けたい力  
 ①人間関係形成能力…他者の意見に耳を傾けながら、それを基に自分の考えを正確に相手へ伝える力。  
 ②社会形成能力…状況に合わせて自分の役割を把握し、それに沿って他者と協力し、社会に関わっていく力。  
 ③課題対応能力…課題を発見・分析し、解決に向けての計画を立てる力。  
 ④キャリアプランニング能力…自分なりの「働く」ということへの意味と役割をみつめて、それに基づいて自分で考えて判断し、自分らしくあるようにしていく力。
- ・中1→中2→中3への成長段階に応じた計画的な学習を進める。
- ・伊那市キャリア教育推進委員会やNPOなどとの連携を図る。
- ・地域・保護者との連携を図る。

# 生徒会

令和4年度生徒会スローガン

## 開 花

～ つながる 支える 広がる ～



### ☆ 全員参加の生徒会 ☆ 日常活動の充実

執行委員会	広報活動の充実(会報発行、生徒会掲示板の活用、昼の放送、生徒集会) 集会・総企画運営・各委員会総括・生徒会行事の企画運営総括 SDGsの取り組み 「会計監査員」の召集
生活福祉委員会	「生活見直し週間」「時間意識強化週間」の実施・生活上の課題検討・リサイクル活動・福祉交流
清掃委員会	清掃スタートの充実・「特別清掃」「縦割り清掃」「全校ワックスがけ」の実施・ゴミ処理当番・清掃用具管理
体育委員会	応援練習、壮行会運営・体育館使用のきまり徹底・体育祭の企画運営
保健給食委員会	「熱中症予防強化期間」「お弁当の日コンテスト」の実施・情報誌発行・献立紹介放送
広報委員会	定時校内放送の徹底・「自主制作番組」の制作・掲示物の管理・集会時機器準備
図書委員会	読書週間/旬間・図書館本の貸し出し返却補佐・読書広報活動・生徒会誌「聖桜」の編集
環境委員会	全校花壇作業の企画運営・FBCへの参加・学級花壇管理・プランター管理(水やり、草取り等)
特別委員会	音楽集会の企画運営・合唱練習の推進・観桜期活動実行委員会・伊澤音楽祭実行委員会
代議員会	各委員会活動案の審議承認・月間目標決定と学級への呼びかけ・学年、学級生徒会運営 選挙管理委員会、会計監査の実施
通学生会・分会	安全な通学方法の確認、集団登校実施・校外における生活の向上

# PTA

PTAスローガン

## 共に拓こう 新たな一歩

### 【主な活動内容】

- ・観桜期駐車場管理、桜茶業務
- ・PTA親子作業(1学年の親子で学校環境整備作業)
- ・親子ふれあい講座の企画運営
- ・聖桜祭協力(PTAコーラス、展示作品出品)
- ・PTA文化講演会の企画運営・PTA新聞の発行



### PTA役員組織 ◎部長 ○副部長 (学)学校職員

会 長	副会長		
監 事		幹 事	
総 務 部			
保健厚生部			
教養文化部			
親 子 ふれあい部			
1 学 年 部			
2 学 年 部			
3 学 年 部			

# 学級編制と生徒数

(5月1日現在)

		男子	女子	計	家庭数
一学年	1組	10	27	37	29
	計	10	27	37	29
二学年	1組	10	10	20	20
	計	20	20	40	40
三学年	1組	9	15	24	24
	計	19	28	47	47
総計		49	75	124	117



「入学式」



新入生37人を迎え  
新年度がスタート



伊澤修二記念音楽祭



# 令和4年度 高遠中学校 日課表

解錠7:30 バス三義線6:56 7:49 藤沢線7:22 8:02 上山田線7:25						
やますそ タイム	8:10~8:20	読書	学級	読書	学級生徒会 学級・学年	読書
短学活	8:20~8:30	短学活				
I	8:40~9:30	①	⑥	⑪	道徳	⑳
II	9:40~10:30	②	⑦	⑫	⑬	㉑
III	10:40~11:30	③	⑧	⑬	⑭	㉒
IV	11:40~12:30	④	⑨	⑭	⑮	㉓
給食	12:30~13:30	給食				
V	13:30~14:20	⑤	⑩	⑮	⑯	㉔
VI	14:30~15:20	学活	総合 音美総	短学活 14:30~14:45	⑳	総合
清掃	15:30~15:45	清掃		生徒会委員会 生徒集会・自学 相談・校長講話等 14:50 ~15:10 ※バス時刻注意	清掃	
短学活	15:55~16:10	短学活			短学活	
一般下校	16:25	16:25	16:25	生徒下校 15:20	16:25	16:25
部活動下校 ①18:15 5月2日~9月22日 ②17:40 4月7日~4月28日, 9月26日~9月30日, 2月13日~3月15日 ③17:15 10月3日~10月14日 ④17:00 10月17日~10月28日 ⑤16:25 10月31日~2月10日 延長部活動 夏期(5~9月)月・火・木・金 冬期(10月~4月)週2日 ノー部活デー:水 (校内)16:25~18:05 完全下校18:15 (校外)17:00~18:40 完全下校18:50 バス三義線 平日(水曜日以外)16:30(水曜日)15:40 デマンド17:50(5~9月) 18:20(4,10~3月) バス藤沢線 平日(水曜日以外)16:26 18:03(冬期) 18:33(夏期) (水曜日)15:13 バス上山田線 平日(水曜日以外)16:25(水曜日)15:20 [11月~2月]						



## 令和4年度 教育課程時間数 週教科時間と年間総授業時数

		週 時間 数			年 間 授 業 数		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
必 須 教 科	国 語	4	4	3	140	140	105
	社 会	3	3	4	105	105	140
	数 学	4	3	4	140	105	140
	理 科	3	4	4	105	140	140
	音 楽	1.3	1	1	45	35	35
	美 術	1.3	1	1	45	35	35
	保健体育	3	3	3	105	105	105
	技術家庭	2	2	1	70	70	35
	外国語(英語)	4	4	4	140	140	140
	小 計	25.6	25	25	895	875	875
総合的な学習の時間	1.4	2	2	50	70	70	
道 徳	1	1	1	35	35	35	
特別活動(学活・生徒会)	1	1	1	35	35	35	
教科等授業時数の合計	29	29	29	1015	1015	1015	



◆ 総授業時数	1015	◆ 学校行事時数	29	◆ 総授業時数	1015
◆ 教科的行事時数	8	入学式	2	◆ 教科相談	8
写生会(美術)	4	卒業式	3	◆ 教科行事時数	8
伊澤修二音楽祭	4	始業式・終業式	5	◆ 学校行事時数	29
		卒業式準備	2	◆ 授業参観	4
		安全 避難訓練等	3		
		生徒会 聖桜祭	10	合 計	1064
		行事 聖桜祭準備	4		